



Twitter



YouTube

明石のコミュニティ・スクール

未来にむけて 学びをかえる

未来を創り 社会を支える 新たな学びと育ちのシステムづくり

# KomiKomiSukuSuku

明石市教育委員会事務局学校教育課 mail: gakkyo@city.akashi.lg.jp

For The Future

No. 264

2024

2.20

## Z世代とは耳にするけれど・・・

Z世代という言葉をよく耳にします。これまでも団塊世代、新人類、バブル世代…とそれぞれの時代背景や特徴をとらえて名前が付けられてきました。そして最近よく耳にするのがZ世代であり、Z世代の次の世代としてα世代という言葉も耳にするようになってきました。どの世代にも共通しているのは、当たり前のことですが学校で教育を受けたということです。しかし、Z世代、α世代がこれまでの世代と違うのは、Z世代が生まれた時にはすでにインターネットが普及するなどデジタルツールに慣れ親しみ、情報の取り方や発信の仕方もこれまでの世代と異なるということです。そのため、団塊世代、新人類、バブル世代…とは異なった価値観等を持っており、そのことを理解しておくことが必要です。1996年中教審答申で「生きる力」が打ち出されましたが、これはまさしくZ世代に対応した学びへの転換を打ち出したものだったんだと思います。もし、Z世代に対応した学びへの転換が進んでいたら日本は変わっていたのかなと考えたりします。だから今、もう一度「探究」や「主体的で対話的な深い学び」が求められているのだと考えます。未来を見据えた学びへの転換が求められているのだと考えます。新年度に向け各校では研究のまとめが進み、新年度の方向性が議論されているのではと思います。子どもの学び方、そして学校だけでなく、地域全体で人が育つ仕組みと校内研究のベクトルを向けていくことを考えてみられるのはいかがでしょうか。その時に、校内だけでなく、保護者・地域との対話の中で新たな視点・知恵等を取り入れられるといいですね。



そんな未来を見据えた学びの転換を考える上で参考になる“苦野一徳”先生の話“voicy”で聴くことができます。教育改革の最前線にいる学校の紹介も含め、これからの学びを丁寧に話されているのでとてもわかりやすいです。この話をベースにしながら対話を試みるのも面白いのではと思います。

(<https://voicy.jp/channel/3397/715189>)

●ナゴヤスクールイノベーション事業

<https://nagoyaschoolinnovation.city.nagoya.jp>

●名古屋市立山吹小学校のニュース動画 (YouTube)

[https://youtu.be/aP\\_u62MA13Y?feature=shared](https://youtu.be/aP_u62MA13Y?feature=shared)

●広島県教育委員会「個別最適な学び担当」(動画多数あり)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku17/kobetu-teian.html>

●大熊町立「学び舎 ゆめの森」

<https://manabiya-yumenomori.ed.jp>

●岐阜市立草潤中学校についての記事

<https://toyokeizai.net/articles/-/471901>



また、工藤勇一先生の最新の YouTube にあがっています。数年前、工藤先生や苫野先生の本や話を聞いても正直“こんな学校が実現したら面白いな、でも・・・”と実現は遠いと思っていました。しかし、最近このお二人の考えがだんだんと具体化されてきているのを感じます。苫野先生の話と合わせて聴いていただけたらと思います。

参照：「夢をかなえるゾウ」作家の水野敬也さんとの対談【第2回】「いい学校とはなにか」(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=YDdyePBQNdc>

## HAYASHI 井戸端会議

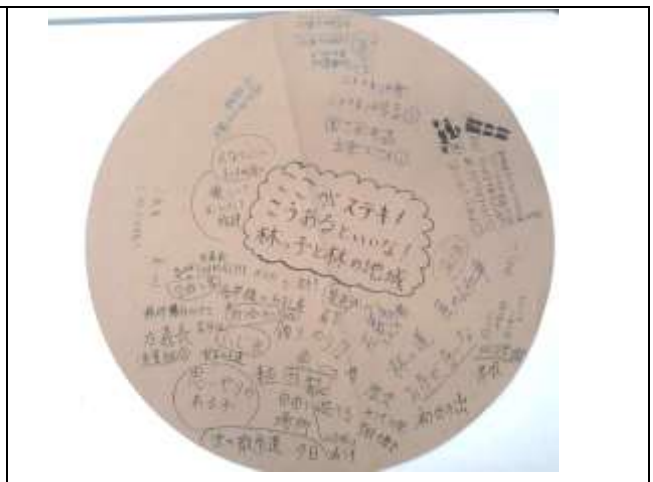


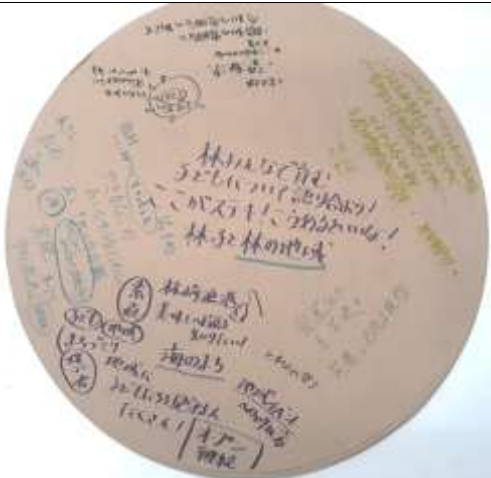
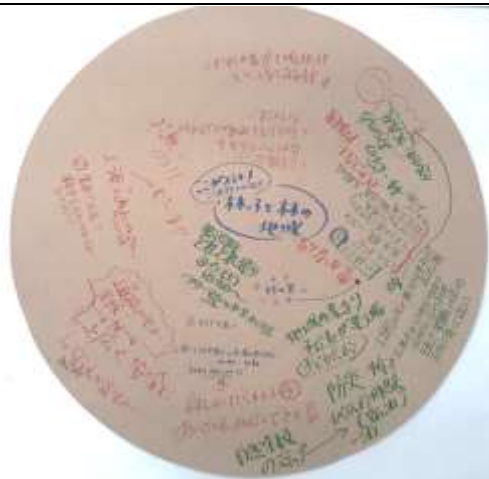
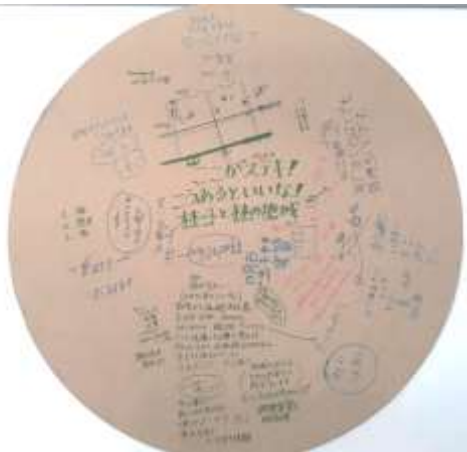
林小学校で2月9日に「HAYASHI 井戸端会議」が開催されました。林小学校は「主体的・協働的に学び、豊かな人生を切り拓く林っ子の育成」を研究テーマに掲げ、本年度は「カリキュラム・マネジメントを推進し、豊かな人生につながる学びの追究を通して、地域ぐるみの教育の実現」に向け、地域をベースにした単元デザインに取り組まれています。そうした地域単元をデザインし活動する中で地域・保護者との連携・協働が深まってきています。そうした連携・協働をさら

に深めるために「学校職員と保護者、地域の方々が一堂に集まり直接交流することを通して連帯感を高めるとともに、林小学校の児童並びに林地域のよさや課題について共通認識を深め、今後の実践に生かしていけるようにする。」というねらいを持って「HAYASHI 井戸端会議」を開催されました。この井戸端会議に先立ち2月3日のオープンスクールでは校長先生が作成された今年度の学校の取組を紹介するビデオを流し、保護者・地域のみなさんへ子どもたちの成長のために先生たちがどんな思いを持って活動を考え、実施してきたかを発信されました。そういったことをベースにコミュニティ創造協会からファシリテーターをお招きして“えんたくん”を使いながら対話がおこなわれました。

今回の HAYASHI 井戸端会議や松が丘のいどばた会議を見ていると第3者の方にファシリテートをお任せする価値はあると感じています。

【対話のえんたくんの記録です】





この記録を見るだけでも各グループで様々な話題について対話されたことが見えてきます。

こうした対話で出たアイデアがこれから具体化されていくんだろうなと思います。そして、こうした対話が積み重なっていくことで、学校・家庭・地域の距離が縮まり、地域そして社会全体で人が育つ仕組みが創られていくのだと考えます。

こんな対話が林小学校に視察で訪れた柏市立土小学校でも“教育ミニ



集会”として2月10日に開催されました。Zoomもつながっていたので覗かせていただきました。土小学校は柏市の研究指定を受けており、年間8回に分けての研究公開の一つです。授業方法の研究ではなく、未来を担う子どもたちに必要な資質・能力を地域全体で育む仕組みにアプローチされており、教師だけでなく、保護者や地域住民にもこれからの時代の学びを考え、新たな学びを創っていくきっかけになったのではと思います。こうした対話が当たり前になる時代がそこまできているように感じます。



### 愛媛大学「坊ちゃんトーク情報」



3月9日(土)に愛媛大学ESDラボ主催で「坊ちゃんトーク特別編 工藤勇一氏×木村泰子氏教師の役割と学校の未来」が開催されます。

工藤勇一先生と木村泰子先生に共通していることは、自律した児童・生徒を育てる民主的な学校づくり、だれ一人取り残さない学校づくり等に熱い思いを持っておられることで、これからの学びを考えるうえでとても参考になるト

ークが繰り広げられるのではと期待しています。どなたでも無料で参加できるようなので申し込まれてみるのはいかがでしょうか。(先着順です!!)

[https://www.ehime-u.ac.jp/data\\_event/ev\\_20240129\\_edu/](https://www.ehime-u.ac.jp/data_event/ev_20240129_edu/)

(文責：北本)